

年 組 名前：



ウツドテッキに設置されたカラス対策のレーザー照射装置

甲府市役所

カラス駆除へレーザー試験

市役所照射装置を設置

甲府市は市中心部に集まるカラスによるふん害が深刻化していることを受け、市役所にカラスが嫌うとされる緑色を使った新型レーザー照射装置を設置している。今春までをめぐりに試験的に運用し、効果を検証する。

（三枝大悟）

照射装置は庁舎東側のウツドテッキ付近に設置。カラスは15年ほど前からラスが集まる時間帯にひさしに向かって緑色のレーザーを照射して追い払う。緑色はカラスが最も嫌うといわれ、「ゴコロ」などに飛来研究があり、緑色のレーザーにするようになった。10月下旬



大悟 三枝
みずき 杉原

ふん害対策 効果を検証

旬から増え始め、2月を過ぎて暖かくなるのに合わせて数が減っていくという。市管財課によると、市役所4階の南側と東側などに設置されたひさしに飛来し、ひさしの下のウツドテッキや歩道などが大量のふんで汚れる。ウツドテッキには机や椅子を設置して開放しているため、毎日掃除をしているという。

市はこれまでに、ひさしの4カ所と公用車の出入り口にスピーカーを設置し、カラスの飛来に合わせて、カラスが嫌いな音を流すなどの対策をしているが、「ふんの被害を激減させるほどではない」（同課）という。このほか、緑色以外のレーザー照射や光を反射するテープ、鳥よけの網などの対策もしたが決定打には至っていない。

同課は「緑色のレーザー照射が高い効果を上げ、カラスを減らすことにつながってほしい」と期待している。

(2024年1月16日付 山梨日日新聞 13面)

問1 甲府市は、カラスによる「ふん害」の対策として、市役所に何を設置しましたか。

問2 カラスは15年ほど前から夕方になると、飛来していますが、いつぐらいから増え始め、

何月を過ぎると数が減っていきますか。

.....から増え始め、.....を過ぎると減っていく

問3 以前は、どのような対策をしていましたか。